

ITUAJより

お知らせ

ITU全権委員会議は、4年に1度開催されるITUの全構成国の代表が参加するITUの最高意思決定機関であり、事務総局長をはじめとする選挙が行われるほか、2020年から4年間のITUの活動方針、予算の枠組、ITU憲章及び条約の改正等について審議が行われます。前回開催が2014年、韓国 釜山。4年を経た今年、10月29日から11月16日にかけて、アラブ首長国連邦 ドバイにて開催となります。ITUジャーナルでも報告記事を掲載いたしますので、楽しみにお待ちしております。



ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編集委員

委員長	亀山 渉	早稲田大学
委員	白江 久純	総務省 国際戦略局
〃	高木 世紀	総務省 国際戦略局
〃	三浦 崇英	総務省 国際戦略局
〃	羽多野一磨	総務省 総合通信基盤局
〃	成瀬 由紀	国立研究開発法人情報通信研究機構
〃	岩田 秀行	日本電信電話株式会社
〃	中山 智美	KDDI株式会社
〃	福本 史郎	ソフトバンク株式会社
〃	熊丸 和宏	日本放送協会
〃	山口 淳郎	一般社団法人日本民間放送連盟
〃	側島 啓史	通信電線線材協会
〃	中兼 晴香	パナソニック株式会社
〃	牧野 真也	三菱電機株式会社
〃	東 充宏	富士通株式会社
〃	飯村 優子	ソニー株式会社
〃	江川 尚志	日本電気株式会社
〃	岩崎 哲久	東芝インフラシステムズ株式会社
〃	辻 弘美	沖電気工業株式会社
〃	三宅 滋	株式会社日立製作所
〃	金子 麻衣	一般社団法人情報通信技術委員会
〃	杉林 聖	一般社団法人電波産業会
顧問	齊藤 忠夫	一般社団法人ICT-ISAC
〃	橋本 明	株式会社NTTドコモ
〃	田中 良明	早稲田大学

編集委員より

「あむろちゃあ〜ん!」

総務省 国際戦略局

しらえ ひさすみ
白江 久純



本誌の読者の方々は、なぜICT分野に関わろうと思われたのでしょうか?

えっ、私ですか? 英語、国語が大嫌いで、人間ドッグの血液検査で血を抜かれるだけで意識を失うような人間なので、選択肢がなかったものだから(^_^;

ですが、この仕事に長く携っていると、自由な情報流通が民主主義そのものであり、そのためのICT発展に意義を感じるようになりました。

「自由な情報流通」は日本の基本政策ですが、国家（為政者）にとって情報の管理は極めて重要であり、その扱いによって権力の根源にもなれば国家が転覆することにもなり得ます。歴史を振り返れば、情報をいかに管理するか、いかに早く正確に知るか、は井戸端会議レベルの噂から国家レベルの暗号通信まで、大昔から追求められている永遠の課題だと分かります。もはや人間が処理できない膨大な情報が手に入る今の時代、新たな問題も色々ありますが、人間の基本的欲求である以上、この流れは止まることはないでしょう。

情報はF2Fで伝わるわけですが、文字が伝達ツールとして有力であるのはご承知のとおりで、印刷技術が大発明と言われるのもうなずけます。もちろんノンバーバルな情報伝達の追求も続けられていますが、古くは本（聖書）や手紙、今はemailやTwitterと、コストパフォーマンスで文字は優れているようです。手書きではなく文字コードで感情も伝えたいと思ったとき、絵文字を始めた日本人には粋な遊び心があるように感じます。Jokeとはまた違う、ほのぼのとした「オチ」の文化に通じる気がします。

今回のとりとめの内容表現する適切なタイトルは何か? 本タイトルでバラエティ番組の映像が読者の頭に浮かび、遊び心をもって伝えることを意図したタイトルだと分かってもらえれば成功なのですが。。ちなみに、本タイトルでググってみると、当然のように映像が出てきました。まだコンピュータが遊び心まで理解しているとは思わないですが(笑)

ITUジャーナル

Vol.48 No.10 平成30年 10月1日発行／毎月1回1日発行

発行人 福岡 徹

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610 (代) FAX.03-3356-8170

編集人 岸本淳一、大野かおり、石田直子

編集協力 株式会社クリエイト・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会